

令和 3 年度事業報告書
(令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月)

I 研究事業

A. 研究事業

a-1. 企画研究

以下 1 件の企画研究の実施を決定し、研究費を支給した。

テーマ	担当	研究費支給額
菊地三郎翁研究	堀中 浩 木村実季	160,000 円

a-2. 個別研究

以下 3 件の個別研究に対して研究費を支給した。

テーマ	担当	研究費支給額
知られざる郭沫若の諸事について	齊藤孝治	202,283 円
戦前期（とくに大正期）における中華民国留学生の研究	横田素子	240,000 円
重森三玲の造形世界における中国神仙思想との関わり の研究	重森貝崙	240,000 円

B. 研究会、講演会等の開催

「三鷹ネットワーク大学」においての寄付講座などの開催を企画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催できなかった。

C. 所報、その他出版物の刊行

c-1. 紀要『中日文化研究所論文集第 9 号』を刊行した。

掲載原稿のタイトルは以下の通り。

(論文)

「知られざる郭沫若の諸事について (8) —小野寺直助と教え子たち」

齊藤孝治

「日華学会留学生名簿から考察する 寄宿状況—戦前期外務省資料「東京在住
中華民国留学生名簿」より」

横田素子

(論考)

「当て字と日中関係」

松本 完

(エッセイ)

「中国と日本における民間医療の役割と現代的意義に関する思索
—今村光夫『日本の民間医療』を手掛かりに」

冬月 律

(資料紹介)

「中日文化研究所『所報』(1948 年第 1 号)」

木村実季

(論考・資料)

「映像完成台本「永遠のモダンを庭園に」(下)
—闇夜につぶてを投げる人・重森三玲」

重森貝崙

c-2. 所報『中日文化研究第9号』を刊行した。

掲載原稿のタイトルは以下の通り。

「中国革命に貢献した女優・王瑩小伝」

岡崎雄兒

「菊地三郎先生にとっての日中友好（2）」

堀中 浩

「戦前の日本語資料に見るモンゴルの正月

—磯野富士子の『冬のモンゴル』に基づいて」

白紅梅・娜仁格日勒

「山村経済に「火」をつけた艾草（アイツァオ）」

長江文清

「インタビュー「ポーレイ茶」のことなど」

那須芳隆・木村実季

「日本庭園に流れる仏教思想と蓬莱神仙思想」

重森貝崙

「『萬巻書樓』の由来と背景について（下）」

齊藤孝治

c-3. DVD 映像資料を図書館など教育機関等に販売した。

制作作品：中国絵巻物シリーズ 『姑蘇繁華圖』、『清明上河圖』

中国の食文化シリーズ『乾貨の食文化』、『桑基魚塘』

『北京の食文化 PART II』

湯島聖堂・原三七と冊子『中国菜』

『康熙帝還暦を寿ぐ北京の佳き日』

『永遠のモダンを庭園に一闇夜につぶてを投げる人・重森三玲』

販売委託先：岩波映像株式会社

D. その他

特になし。

II その他の事業

① 茨城県美浦村に所有する不動産の賃貸

公益財団法人アジア・アフリカ文化財団に対して賃貸した。

以上

令和3年度 事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」の該当なし。